

舍衛城神變説話

中川 正法

舍衛城において、釈尊が外道降伏のために大神変(Anāpāṭita-jā)を示したという話は、舍衛城神變(奇蹟)説話として有名であり、釈尊の生涯を描いた美術作品にも、しばしば素材として用いられている。この舍衛城神變説話に関する従来の研究は、釈尊が示した神変内容に対するものが主になっており、説話自体の内容や構成は殆ど問題にされていないと思われる。そこで本稿では、六師外道が神通力を比べんと釈尊に挑み、これを受けた釈尊が、舍衛城において様々な神変を示現し外道に勝ったという内容を持つ説話を伝典中に求め、各説話の要素を比較検討することにより、舍衛城神變説話の起源や展開を考察していく上での手掛かりとしていきたい。

前述の内容を持った説話が、註(2)に示した個所に見られる。これらの資料について、説話構成上、主な要素をあげ、その要素の有無を表に示した。この表に基づき以下のが推定される。

○ Jataka (以下 J) の話は、舍利弗に関する本生譚の序分に含まれているものだが、独立した話ではなく、他の説話と比べ内容が随分単純であることから、原初的な形を持ったものと思われる。

○ Dh. A. は、話の構成及び要素とも J に含まれるものを殆ど持っている。賓頭盧が、神通力を用いて長者より鉢を取った話は、J に比べ、長く詳しく述べられている。神変を示した後の話の構成

が J と等しく、釈尊が、他の J (No. 28・29) を説く場面があることから見て、Dh. A. は J に基づき Vinaya 等に見られる賓頭盧の話を用いて書かれたものと言えよう。

○ 『四分律』は、賓頭盧が鉢を取る話を持つこと、神通力使用禁止について述べられていること、更に魔王波旬に関する話を持たないことから見て、他の漢訳資料に比べ J に近いと思われる。

○ Divy. と『根本有部』とは、要素が殆ど一致しており、極めて密接な関係にある。両者が、内容的に対応するという S. Lévi 博士等による指摘も確認されよう。また、この両説話のみが持つ要素も多く、この点留意すべきである。

○ 『根本有部』を除く漢訳三資料は、構成上の共通要素が多く、特に神変示現が複数日に渡って述べられているのは、これら三者のみである。ピンピサー王に会って以降、『四分律』と『賢愚経』とは、いくつかの神変内容を除きほぼ一致している。また、内容より判断して、『菩薩本生鬘論』は、『賢愚経』に依って書かれたものであると言えよう。

以上のような点から、舍衛城神變説話は、J における話が基になり、それが取り出されて増広され、律に取り入れられたり、あるいは、Divy. の如き単一の sūtra に至るまで発展したものと考えられる。しかも、Divy. と『根本有部』では、舍衛城にて神通力を示すことは、仏が入滅前になすべき十事(dasaṅgatarāṇyam)の一つであるとまで言われている。更に内容要素から判断して Dh. A. 『四分律』等の三つの漢訳に見る説話と Divy. 『根本有部』に見る説話とは、異なった発展過程を持つものと考えられる。

この説話の展開を見ていくには、それぞれに示された神変内容を

も比較検討することが必要であるが、今後の機会に試みたい。

1 A. Foucher, *Le Grand Miracle du Buddha à Srāvastī*, JA 1909. 干潟竜祥博士「阿弥陀経の焰肩仏について」(『印度学仏教学論叢』) 高田修博士「焰肩仏と双神変像」(『仏教芸術』一七号)

2 A || *Sarabhanigajātaka* (J. 483) B || *Dharmapada-Aṭṭha-katha* C || 四分律卷五十一 D || 賢愚経卷二 E || 菩薩本生鬘論卷二 F || *Diyaavadana XII* G || 根本有部毘奈耶雜事卷二十六。(EはDに依るとの干潟博士のご注意により本表より除く。昭和五十七年一月追記) (九州大学大学院)

要素		資料						
		A	B	C	D	E	F	G
賓頭盧神通力にて鉢を取る		○	○	○				
挑戦原因	釈尊神通力の使用を禁ず	○	○	○				
	供養の席で釈尊神通力を示す			○	○	○		
釈尊出現による外道への供養							○	○
魔王波旬の外道に対する術現					○	○	○	○
外道ビンピサーラ王へ訴える				○	○	○	○	○
ビンピサーラ王釈尊へ申し伝える		○	○	○	○	○		
王使者を象に乗せ告げ回させる		○						
王舎城から諸国を遊行				○	○	○		
ブラセーナジット王釈尊に伝える			○	○	○	○	○	○
釈尊過去仏の神変を思念する			○				○	○
如来の必須事としての神変							○	○
ブラセーナジット神通舎建立申し出		○	○				○	○
外道同朋を求める							○	○
カーラ王子因縁譚							○	○
仏弟子神変を示すことを申し出			○				○	○
釈尊主神変	マンゴ樹(大樹)現出	○	○	○	○	○		
	放光				○	○	○	○
	双神変(yamakaprātihārya)	○	○				○	○
	化仏(nirma)示現		○		○			○
釈尊神変現すこと数日に及ぶ				○	○	○		
外道一切の神通力を示さず		○	○	○	○	○	○	○
神変を見て大衆発心・帰依等		○	○	○	○	○	○	○
外道逃亡中に黄門娼婦と会う							○	○
外道の死		○	○	○	○	○	○	○
釈尊・六師外道本生譚					○	○		
神変示現後釈尊三十三天へ向う		○	○					